NO.6

の館

営9：00～17：00
休月曜日・祝日の翌日（平日の場合）
年末年始

（郷内）

城シアターにて上映中!!

山に建てられた安土城
た「VR安土城」。
感できます。

VR画像提供：近江八幡市

申高速道路 竜王IC→国道8号線より約20分

NO.7

文芸の郷レストラン（安土城天主信長の館隣接）

喫茶から地場産品を使ったお食事処

営10:00～16:00
※季節により異なります。
休月曜日
祝日の翌日（平日の場合）
年末年始

〒521-1321
滋賀県近江八幡市安土町桑実寺800
お弁当のご予約承ります TEL.0748-46-6555 64席

http://www.bungei.or.jp/

NO.8

世界凧博物館 東近江大凧会館

休館日 毎週水曜日・第4火曜日・祝日の翌日・年末年始
入館料 一般 300円 小中学生 150円
開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3番5号 TEL0748-23-0081 http://oodako.net

家族みんなで楽しめる凧（たこ）の博物館
日本一の100畳大凧と日本・世界の凧を展示

■国史跡 百済寺［極楽橋］

百済寺は、聖徳太子が百済人のために606年に創建されたと伝わる古刹で、寺伝によると秘仏の本尊は百済の「龍雲寺」の本尊と「同木二体」であった十一面観音（像高2.6m）です。中世の最盛期には「天台別院」と称され、宣教師ルイスフロイスが『地上の天国1000坊』と絶賛する程の浄地でありましたが、惜しくも信長の焼討に遭いました。往時の姿は、広大な「石垣遺構」と調和した四季の光景や「天下遠望の名庭」から見下ろす湖東の歴史舞台から偲ばれます。【東近江市】

■世界凧博物館 東近江大凧会館

江戸中期からの伝統を持ち国の無形民俗文化財である東近江大凧の保存継承を図る為、実物の百畳敷大凧を展示し、制作過程、記録写真等の資料を展示。東近江の先人が残した伝統を知ることができます。【東近江市】

■臨済宗 永源寺派 大本山 永源寺

永源寺は、康安元年（1361）近江守護職、佐々木氏頼が寂室元光禅師（正灯国師）を迎えて開山、本堂は全国屈指の葭（よし）葺き建物で、本尊には霊験あらたかな世継観音（秘仏）が安置されています。秋は全山が紅葉に包まれて紅に染まります。【東近江市】

■五個荘 金堂の町並み

重要伝統的建造物群保存地区「五個荘金堂の町並み」は、陣屋と社寺を中心に形成された湖東平野を代表する農村集落で、近江商人が築いた意匠の優れた伝統的な町並みが残っています。保存地区内では、近江商人屋敷（外村繁邸・外村宇兵衛邸・中江準五郎邸）の他、金堂まちなみ保存交流館を一般公開しています。【東近江市】

■クレフィール湖東

クレフィール湖東の湖東やすらぎ浴「至福の湯」は、のんびりとおくつろぎいただけるゆとりのスペースに、内風呂、岩や檜を使った露天風呂、さらに活力回復に役立つ薬草風呂もご用意しております。どうぞ至福のひとときをお楽しみください。【東近江市】

■コテージ＆オートキャンプ場 グリム冒険の森

グリム童話と冒険をテーマにした緑豊かな森の中の体験型キャンプ場です。キャンプはもちろん「バウムクーヘン作り」「ドラム缶風呂体験」「草木染め」「そうめん流し」など多彩なイベントを楽しむことができます。【日野町】

■日野祭【5/2宵祭・5/3本祭】

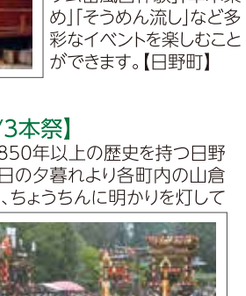
馬見岡綿向神社の春の例祭。850年以上の歴史を持つ日野で最も大きなお祭り。毎年5月2日の夕暮れより各町内の山倉の前や辻まで曳山が引き出され、ちょうちんに明かりを灯して夜遅くまで祭ばやしがかなでられ、祭り気分を盛り上げます。本祭の日は各町内より十数基の曳山が神社境内に勢ぞろい。御輿3基も繰り出し、この日一日、日野の町は祭一色となります。【日野町】

■歴史の町並み

日野の町なかには白壁の土蔵や板塀に囲まれた家々が建ち並びます。江戸時代、行商をしながら全国へ進出した近江日野商人たちの本宅で、当時の面影を偲ぶことができます。【日野町】

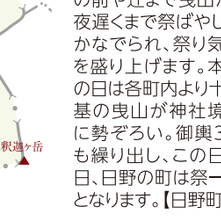
■河内の風穴

霊仙山系のカルスト地帯に出来た石灰岩の洞窟。総延長は、10,020m以上といわれ全国第3位。一部が観光洞として開放されています。洞内温度は、年中約12度で、固有種の確認もされています。近くを流れる透き通った清流に癒しを求めてくる人も大勢います。県の天然記念物指定。【多賀町】



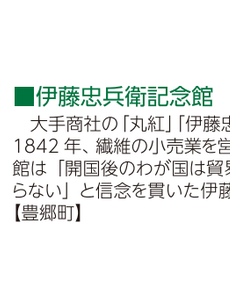
■花の郷 日野ダリア園

秋には10,000m²の休耕田にダリアを主体として、四季の花々を楽しめる観光農園です。例年4月下旬頃から、ボタン・芍薬苑、クレマチスが開園します。その他にもイチゴ狩りも楽しめます。【日野町】



■歴史民俗資料館 近江日野商人館

典型的な日野商人本宅の特徴そのままを今に残す建物で、館内には行商品や道中具・家訓などが展示されており、400年におよぶ日野商人の歴史と商法を紹介しています。【日野町】



■伊藤忠兵衛記念館

大手商社の「丸紅」「伊藤忠商事」の創始者初代伊藤忠兵衛は1842年、繊維の小売業を営む「紅長」の家に生まれました。記念館は「開国後のわが国は貿易の拡大によって開かれなければならない」と信念を貫いた伊藤忠兵衛の本家を開放したものです。【豊郷町】

■胡宮神社

胡宮とは、古いお寺、非常に気高く尊いお宮という意味です。神社の背後には青龍山という神体山があります。その山頂近くに磐座があり、またどんな干ばつの年でも水が枯れない古井戸があります。胡宮神社の祭神は日本最初の男性と女性の神様である伊邪那岐命と伊邪那美命の子である事勝国勝長狭命で五穀豊穣を司る神様です。胡宮神社は湖東三山と並ぶ敏満寺の遺跡でもあり、典型的な神宮寺の形を残しています。【多賀町】

■江州音頭発祥の地

江州音頭発祥地である豊郷町は、高宮と愛知川の宿場町を結ぶ「中山道」を中心にして、東西に街並みが広がっています。豊かな自然の中に寺院や社、城郭などが築かれてきましたが、戦国時代に入ってからは、豊郷も戦場となり、多くの寺や民家がことごとく焼き尽くされてしまいました。そんな時代の中でも、この地の人々は、持ち前の根強さと明るい気風を発揮し、華やかで陽気な唄と踊りの『江州音頭』を編み出したのでした。【豊郷町】

■大蛇ヶ淵【大瀧神社】

大瀧神社に面する犬上川は、大蛇ヶ淵（だいじゃがふち）と呼ばれ、清流が、奇岩怪岩の間をうねりながら、10mの落差で流れ落ちる光景は迫力があります。紅葉時期も美しい。大瀧神社は、京都の貴船神社にも祀られている水を司る高龗神、闇龗神が祭神で滝の宮とも呼ばれます。付近には遊歩道が整備され、木々の息吹、清らかな水流など四季折々の自然を楽しむことができます。【多賀町】

NO.9

NO.10

NO.11

NO.12

NO.17

NO.16

NO.15

NO.14

NO.13

◆この地図は英公社株式会社(版権所有)発行の最も新しい地図を調製したものです。
いかなる形式においても、著作権者に無断で、この地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。